

プログラム企画書

【プログラム名】 シンガポール国立大学 (NUS) の学生との交流
【主催】 教養教育院 語学教育センター、高等教育研究センター 国際教育推進班
【実施日程・時間】 日程： 9月26日(月)、27日(火)、28日(水) 各18:00~19:30 9月29日(木) 19:00~20:35 (合計6時間5分)
【実施形態】 ハイブリッド形式 準備セッション・交流会はELCSで実施するが、オンラインでの参加も可能とする
【担当講師名】 モートン(教養教育院) 橋本、坂田、ナム(高教研)
【プログラムの内容】 学生が身近な問題や気になっていること(SDGs、ゴミ問題など)について調査し、英語(徳大生)と日本語(NUS学生)で発表を行い、グループでディスカッションする。準備セッションでは、トピックの選択、調査の仕方、プレゼンスライドの作り方、英語でのプレゼンの仕方やディスカッションでの対応について事前学習を行い、グループで実際に調査、発表を行う。
【到達目標】 英語でのプレゼンを準備し、スライドを効果的に使いながら、自分たちの調査結果と意見を聞き手にしっかり伝えられるようにする。また、海外の大学生のプレゼンを聞き、それに対する自分の意見が言えるようにする。相互にプレゼンをすることで、日本以外の人の考え方やコミュニケーションの仕方に触れることで、国際理解力を高めることができる。
【成績評価の方法・基準及び付与マイレージポイント数】 <ul style="list-style-type: none">● 最大12ポイント取得可能。● 参加者全員がトピックについての調査に加わり、プレゼンの準備及び実際のプレゼンで全員が役割を持ち参加する。積極的な参加がない場合や指導とは異なる内容や形式で活動を行った場合は、減点されることがある。● 準備セッションから交流会まで全ての日程に参加することを前提とする。欠席や遅刻した場合(連絡の有無に関わらず)は、その時間を割合に応じてポイントを減点する(例:一回<1.5時間>欠席した場合は3ポイント減点)。● プレゼン終了後にアンケートを実施し、グループ全員及び自分がそれぞれの役割を果たし参加していたかを調査する。
【その他】 参加対象:①GRIPに参加したことがある、②オンライン・オンサイトの英語圏への海外留学をしたことがある、③TOEIC550点以上又は同等の英語力がある(証明資料の提示は求めない)、のいずれかに該当する本学の学生。